

Oh!Okagawa News

大岡川ニュース 第19号 令和3年5月25日発行

発行／NPO法人海の森・山の森事務局

〒222-0011

横浜市港北区菊名2-24-24

☎045-423-8021

FAX 045-423-8022 <https://www.uminomoriyamamori.com>

2021
SPRING
no.19



2018年12月に神奈川県・茅ヶ崎沖で発見した海底に大量に堆積したプラスチック。ここは掘っても掘っても次々とプラスチックが出てきた。(撮影:N・T)



緊急取材

海に沈んだプラスチックは、一体どうなってしまうのか？

その2 驚愕の事実から

建部 昌臣さん(マーマン・ダイビングガイド)へのインタビュー

写真/田中篤(A・T)、豊田直之(N・T)、道下勝基(K・M) 文/豊田直之

プラスチックごみが海底に大量に堆積していた

建部昌臣さんとは、ほぼ30年来のお付き合い。ダイビング雑誌の取材でお世話になり、それ以降茅ヶ崎のダイビングでは必ずお世話になっている間柄。

その建部さんと一緒に、当NPOは2015年からイオン環境財団からの助成をいただきながら、茅ヶ崎沖海底のプラスチックごみ調査と回収を行なってきました。神奈川県最大河川・相模川から相模湾にプラスチックごみが流出していることをつきとめ、沖のどの辺までその影響が出ているかを調べるのが最初のきっかけ。

毎年調べているうちに、広範囲に、しかも相当沖までプラスチックごみが海底に散らばっている事実を知ります。

必ずどこかに溜まっている場所がある。2018年12月に大量に堆積している場所を発見し、Yahooニュースでもトップ記事にもなったほどです。

あれだけあった大量のごみがなくなっていた

そしてさらに事件は起きます。2019年15号、19号の台風が関東に接近し、相模湾は大いに荒れました。その年の年末に再び潜って調査すると、大量のプラスチックごみは跡形もなく、きれいな海底になっていたのです。

豊田「二つの大きな台風の底ウネリで海底がかき混ぜられて、さらに沖まで運ばれちゃったんですかねえ…」

建部「あの2つの台風の後、茅ヶ崎の海は1ヶ月近く濁っ



2020年初旬、海底作業を想定したインストラクターダイバーのみで組織した海底穴掘り部隊。みんなでスコップで海底に溜まった土砂を掘った。(撮影:K・M)

ていたんですよ。相模川上流の濁流が流れ込んで…。たしかにウネリで海底のごみが洗い流されたという考え方も間違いではないと思うんですが、もしかしたら大量の土砂に埋まってしまっ

た可能性も否定できないんですよ」

さすがに30年以上も茅ヶ崎の海に潜り、まさに茅ヶ崎の海を知り尽くしている人の見ていることは違うものです。

昭和27年創業
共栄商事不動産
http://www.kamioooka.jp

【本店】横浜市港南区上大岡西1-19-4
Tel 045-842-0054/Fax 045-846-3701

【駅前支店】横浜市港南区上大岡西1-15-1 camio1F
Tel 045-842-0052/Fax 045-846-3702

【大久保支店】横浜市港南区大久保1-11-6
Tel 045-842-0058/Fax 045-842-2206

秋山眼科医院
akiyama eye clinic
http://www.hekaton-cheir.jp/akiyama-eyeclinic/

横浜市中央区尾上町3-28 横浜国際ビル4階(受付) TEL:045-641-9361

眼科 [月~金]10:00~13:00 15:00~18:00 [土曜]10:00~13:00
耳鼻咽喉科 [火・水]10:00~13:00 15:00~18:00 [月・木・金]10:00~13:00

まごころ・信頼・サービスをお届けします。

株式会社 横濱屋

- 業務用酒類卸
- スーパーマーケット
- お酒スーパー

●本社 横浜市南区宮元町4-93 TEL 045-712-2670
●業務用酒類卸(東神奈川営業所) 横浜市神奈川区千若町2-1 TEL 045-440-6440



海底には20センチほどの土砂が堆積。その下からプラごみが出てきた。(撮影:N・T)

台風による大量の土砂に プラごみが埋まっていた

年が明けて、あまり時間をおかずに再び潜水調査しました。ダイバー全員がスコップなどを持ち込んで、該当エリアを掘りました。結果は、およそ15~20センチの厚さで土砂が溜まり、その下に大量のプラごみが埋

まっていたのです。

豊田「事態はさらに悪い方向に進んでいますね」

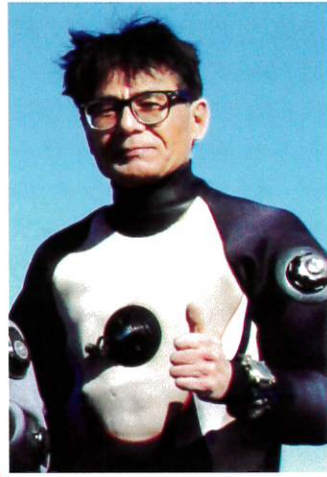
建部「土砂に埋まったら、もう回収するすべもない…」

豊田「土砂に埋まったプラごみは、土砂の下で誰にも知られずに劣化が進み、海底

の土砂の隙間からどんどんマイクロプラスチックを排出する時代が2~3年後にはやってくる」

建部「10年前には海岸にプラごみはほとんどなかったんですけどね。もうこれ以降は、海にプラごみを流出させない暮らしに大至急シフトしないと…」

豊田「このままでは間違いなく海は滅びる。海が滅びれば、地球は人が住めない星になってしまう…」



建部昌臣さん。1990年から茅ヶ崎でダイビングインストラクターとして活動する。(撮影:A・T)

生きものみつけた! No.19

ナナホシテントウ

写真と文/道下勝基



写真上/2月中旬、氷取沢の市民農園に咲くホトケノザに見つけました。写真下/複眼の間や口の周りに点刻があり精悍な顔付きに見えます。

体長は5~9mmでテントウムシとしては中型の大きさ。頭と胸は黒く、複眼の内側や胸には淡黄色い斑を持ち、翅は赤色で7つの黒点があります。

平地から山、草地や林縁などに生息し、成虫、幼虫ともにアブラム

シを捕食。益虫として知られています。

寿命は短く二ヶ月ほど。約20日間で卵から成虫になり、すぐに繁殖可能になるため、春から秋に

かけて数世代が入れ替わります。

触れると臭い匂いと苦い味がする黄色い汁を脚の根元から出すため、野鳥など天敵となる生き物は口に入れても吐き出し、次からは口にしなくなると言われています。体の派手な色や模様は、天敵にこの液の味を思い出させる警戒色となっています。また、もう一つ身を守るために死んだふりをします。



田中 篤の カワセミ歳時記・春

水面下のサカナを狙う。満開になると、ほとんど枝にとまらなくなる。サカナの動きが見えにくくなるからだ。



写真/田中篤 文/豊田直之

川でつながるSDGs交流会 Vol.13, Vol.14

今回もZOOMで開催!

1/27(水)の第13回の同交流会。メインスピーカーにNPO法人しんせい理事長の富永美保さん、そのお話を多面的にフォローする形で一般財団法人CSOネットワーク顧問の黒田かをりさんも登壇するスタイルで、テーマは「福島復興とSDGs」で開催されました。

震災から10年という歳月を経て、福島の復興を目標として、障がい者の就労と需要供給のバランスを他の就労事業所とのパートナーシップで仕事の受注体制を築き、お菓子の全国販売を開始したお話をさせていただきました。

3/24(水)の第14回は、冷蔵庫収納

家・食品ロス削減アドバイザーの福田かずみさんがスピーカー。ちまたでもフードロスのことが大きな社会問題となっています。暮らしの中のSDGs「冷蔵庫収納と食品ロス」というテーマで、家庭の冷蔵庫から食料廃棄をなくし、今すぐ実践できる食品ロス削減へのヒントについてお話いただきました。

コロナ禍で対面式のイベント開催が難しく、昨年からはしばらくZOOMによる開催が続いています。ただZOOMを活用することで、今までどうしても参加できなかった遠隔地の方の参加ができるようになったり、メインスピーカーの方も横浜近郊の方ではなくてもお願いできるようになったのは大きなメリットです。

ちなみに第15回はニューヨークと回線を繋いでの開催予定です。

『川でつながるSDGs交流会』についてのお問い合わせ

株式会社大川印刷
TEL045-441-2011 FAX045-441-2014
E-mail magokoro@ohkawa-inc.co.jp



第13回の講師・富永さんは福島からの回線を繋いで、黒田さんは東京からの回線を繋いでのご登壇。参加者も山梨県など、今までは参加できなかった方々も参加されました。(撮影:画面キャプチャー 今井俊志 株式会社大川印刷)



第14回は、食品ロスや冷蔵庫という意味からも女性参加の比率が高く、関心度の差がはっきりと出た回でした。意外と気づかない冷蔵庫の中の整理法は役に立つヒント満載でした。(撮影:画面キャプチャー 今井俊志 株式会社大川印刷)

湘南太陽会グループは
人々の心とからだの健康を総合的に支援します。

湘南太陽会

毎日診療しているクリニック
鳥居泌尿器科・内科
【金沢文庫】

23時まで診療しているクリニック
Aoi 23 clinic 相生23クリニック
【関内】

駅前まで21時まで診療しているクリニック
ねぎし泌尿器科・内科
【根岸】

泌尿器科トラブルの総合カウンター
スカイビル腎・泌尿器科クリニック
【横浜】

株式会社 太陽住建
Taiyo Jyuken

☎0120-460-025 横浜市港区井土ヶ谷下町 6-1
リバーサイドマンション 1階

「大岡ハゼ丸」のステッカー提示で
アイスウロン茶1杯サービスいたします!

横濱 一品香
CHINESE KITCHEN

ジョイナス店・港南台店
若葉台店・保土ヶ谷店
ららぽーと店・上大岡店
センター南店・町田店

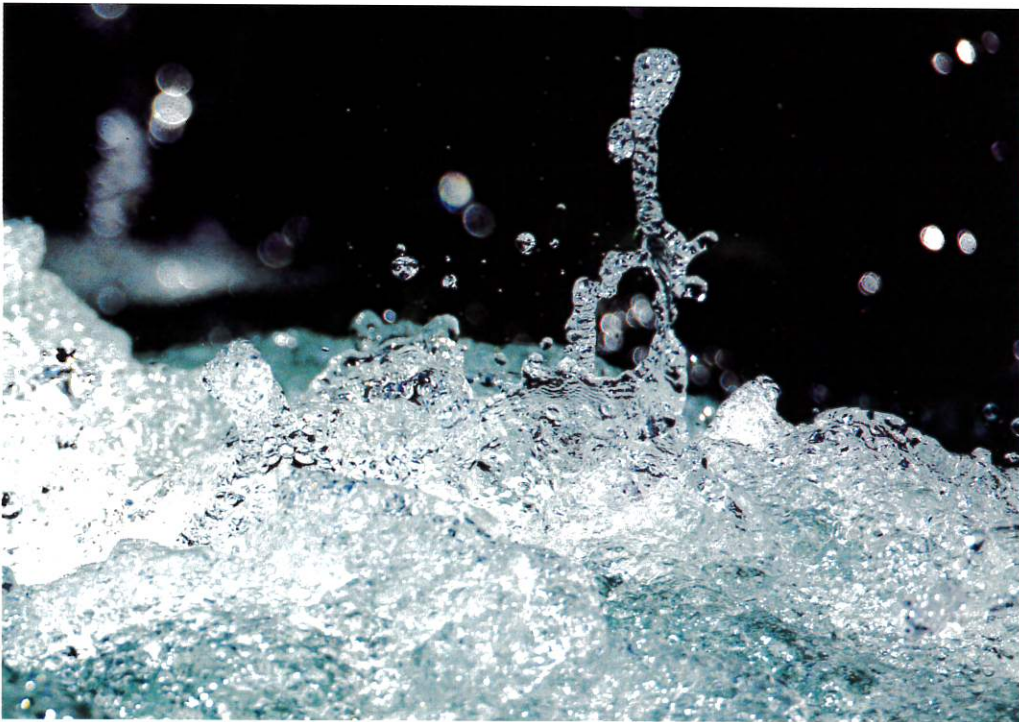
たんめん与中国家庭料理

横濱の老舗

勝烈庵

ビジュアルコンサート「水宇宙」

シンセサイザーデュオ「イノヤマランド」との映像共演!



コロナで開催危ぶまれる

3/6(土)、横浜市泉区民文化センター「テアトルフォンテ」にて、ビジュアルコンサートが開催されました。当NPO理事長で写真家の豊田直之の代表作「水の輪廻」からのまさに水にまつわる数々の映像。宇宙感にあふれるシンセサイザーデュオ「イノヤマランド」の楽曲とのコラボレーション「水宇宙 ～音と光で水の物語を紡ぎ出す～」。イノヤマランドは、アンビエントといういわゆる環境音楽のパ

イオニア。海外からもオファーが来る知る人ぞ知るシンセサイザーデュオ。環境映像とのまさに理想的なコラボレーションが実現したのでした。

当日は、コロナ禍でありながらも、コロナ対策での入場制限席数がほぼ埋まり、来場者は一時間半ほど、ビジュアルとサウンドを満喫しました。

1年半前に開催日程は決まったものの、昨年1月よりあれよあれよという間に新型コロナウイルスが日本国内に蔓延し、コンサート会場閉鎖やコンサート開催中

止が相次ぎ、開催はまさに風前のともしびでした。昨年の秋以降に蔓延が少しおさまりかけ、年が明けてからもしばらくはその状態が続き、かろうじてそのような状態で、なんとか会場での有観客開催にまでこぎつけることができました。

書き下ろしの曲が披露された

イノヤマランドの井上誠氏と山下康氏、そして豊田の三氏が頻りに会って打ち合わせ、コンサートの内容や展開を細かく詰めました。

城ヶ島の海底から242.52kgのごみを回収!



この日はプラごみを中心に、軽トラックに積みきれないほどのごみを回収しました。(撮影:道下勝基)

精鋭ダイバー部隊集結!

3/23(火)、この日は海底のロープなども回収するのに危険も伴うため、ダイビングインストラクターレベルの精鋭ダイバーのみで城ヶ島の海底清掃を行いました。午前と午後の2回の潜水だけで、なんと242.52kgものごみを海底から引き上げました。ダイビングセンター所有の軽トラックにも積みきれなかつ

たほどの量です。2015年から、公益財団法人イオン環境財団から助成していただき、城ヶ島ダ

イビングセンターとの協働で毎年3回ほど、ボランティアダイバーを募って三浦半島先端の城ヶ島の海底の



海底には不法投棄されたもの、また潮流に流されて漂着したプラごみなどが残されていました。(撮影:豊田直之)



ダイビングインストラクターおよび超ベテランダイバーのみで組織した精鋭部隊。(撮影:城ヶ島ダイビングセンター)

ごみを回収してきました。毎回のべ100余名のボランティアダイバーが一日トータルで100kgほどのごみを引き揚げました。しかし、危険が伴うため、アンタッチャブルなエリアが残されてきたことも事実です。

そこで今回、もちろん安全を第一としながら、その今まで手付かずだったエリアを精鋭部隊で潜って海底清掃を行ってきたのです。

この日だけでは回収しきれないごみもまだ残されているため、2021年度も精鋭部隊で再度行なう予定。主催:NPO法人海の森・山の森事務局&城ヶ島ダイビングセンター、助成:公益財団法人イオン環境財団、桂川・相模川流域協議会、協力:城ヶ島漁業協同組合、神奈川県東部漁港事務所、神奈川県水産技術センター、海上保安庁、公益財団法人かながわ海岸美化財団



悪天候による中止続く



写真上/2/20実施の日/出町・黄金町エリア。(撮影:道下勝基)
写真下/ごみの増加傾向が見られた井土ヶ谷エリア。(撮影:田中篤)

新型コロナウイルス蔓延防止の影響で、そもそも密や人混みを避けて参加を辞退される方も多く、ごみ拾いイベント開催も厳しいものがあります。

PGT大作戦も、日ノ出町・黄金町エリア、井土ヶ谷エリアそれぞれでも、参加可能なメンバーのみで粛々と開催しています。

コロナ禍で食べ物のテイクアウトによるプラ容器が増えたり、着用したマスクのポイ捨て、店内での飲酒ができないことから川縁での飲酒など、街中のごみは逆に増えている傾向が見られます。実に残念な話です。

もう一つ残念なことに、雨天による中止も多かったです。

- 日ノ出町・黄金町エリア
2月20日(土)
回収ごみ重量 44.82kg
(うちタバコの吸殻 4,800本)
3月13日(土)
雨天のため中止
4月17日(土)
雨天のため中止

- 井土ヶ谷エリア
2月6日(土)
回収ごみ重量 5.01kg
(うちタバコの吸殻 2,740本)
3月6日(土)
回収ごみ重量 7.123kg
(うちタバコの吸殻 3,760本)
4月3日(土)
回収ごみ重量 4.446kg
(うちタバコの吸殻 3,216本)



吉田興産グループ
横浜市中央区長者町9丁目175番地 TEL045-251-4545

総合建設業 **株式会社 キクシマ**
www.kikushima.co.jp
注文住宅建築・集合住宅建築・教育施設建築・福祉施設建築・商業施設建築
耐震補強工事・リフォーム・リノベーション・鉄骨製作工事
☎ 0120-96-6663 本社:横浜市港南区港南台 4-39-7

YOKOHAMA ISEZAKICHO KAWAKOTOYA
いせぶら
YOKOHAMA ISEBURA POUND
合名会社川本屋商店
横浜市中央区伊勢佐木町 6-146 ☎045-261-7652

中でも圧巻は、豊田の同コンサート用に作り上げた「水宇宙」というタイトルの映像に、新たにイノヤマランドの二人によって書き下ろされた曲がつけられました。

海の中のクジラ、マンタ、ウミガメなどの映像から、地球のおよそ7割を占める海の最初の一滴の「しずく」を山の頂でとらえ、その「しずく」が織りなすさまざまな物語が展開する映像。その物語を、アコースティックな楽器では表現しきれない宇宙感のようなシンセサイザーサウンドで表現し、さらに山下氏のピアノで味付け。そんなオリジナル楽曲が、会場の大きなスクリーンに映像が映写されながら、初披露されました。

今後またのコラボレーションコンサート開催を約束して、無事終了しました。



写真上/シンセサイザーデュオ「イノヤマランド」の気の合うお二人。井上誠さん(左)と山下康さん。(撮影:テアトルフォンテ)
写真下/舞台上左側でイノヤマランドのお二人が演奏、右側には豊田が配置され、映像のオペレーションを行ないました。(撮影:テアトルフォンテ)

理事長トヨダのThe Lord of the Everest 第10回 至最强の体幹トレーニング法を発見!

「三匹のおっさん」
過酷な口ケからの
トレーニング法!

昨年のコロナ禍での活動制限の中から生まれた新企画「プラゴミバスターズ 三匹のおっさん 神奈川県海岸線435.09km踏破中!」。

(本紙でもp6~p7で連載中)この口ケは過酷です。

拾ったごみの重さを計る秤、地図、ファーストエイドキット(いわゆる救急箱)、ドローン、ゴープロ(動画撮影機材)、もちろんお弁当や飲み物なども背負子にくりつけたカゴに入れる。しかも



海岸でのごみ拾いが、エベレスト攻略の鍵を握る。想定外の負荷が最強のトレーニング法に。(撮影:出口剛)

カゴには旗がセットできるように細工してあって、その重さトータルでおよそ10キロ。これを背負って、ごみを拾いながら一日中海岸線を歩きます。砂地あり、砂利浜あり、荒磯あり。距離はおよそ6キロではあるものの、歩数にして1万5千~2万歩。

ちょうどコロナ禍で海外

渡航が難しく、2019年のキリマンジャロ登頂以降の高山チャレンジ予定が全く見えていません。高山チャレンジのためのトレーニングも行わなければならないのですが、奇しくもこの過酷な口ケに、予期せぬ効果が期待できます。

強風ではためく旗が体幹をテコの原理で思いっきり鍛えてくれる

カゴにセットした活動旗。風の穏やかな日はまったく問題ないのですが、風が吹くと一気に事態は変わります。まさに「人間ヨット」。

海岸線は、たいてい何らかの風が吹いていて、逆風であれ、順風であれ、左からだろうが、右からだろうが、風が吹けば風に押されてカラダが傾きます。風が強くなればなるほど、そのカラダの傾きを補正するために、意識することなく、勝手にカラダ中のあちこちの筋肉が働いて、姿勢を保とうとします。しかもボールのほぼ2メートル分のモーメント(物体に回転を生じさせるような力の性質)もそこに加わります。

腰や脇腹に想定外の運動が余儀なくされ、まさに史上最強の体幹トレーニング法なのです。

アカウソ<赤鸞>

【Eurasian Bullfinch】スズメ目 アトリ科 15.5cm

写真と文 道下勝基

大岡川野鳥観察記 No.20



2月の礫子区氷取沢。太くてやや丸い嘴で、器用にウツギの実をついばんでいました。

ロシアや中国で繁殖し、冬鳥として日本に渡ってきます。



頬部と腹部にかけてのきれいな朱色が本種オスの特徴です。

国内で「ウソ」と名の付く野鳥は、本種と本州の高山や北海道の森林で繁殖し、冬に南下して平地で越冬するウソの2種類を主に観察することができます。ウソと本種の識別は尾羽の裏側や、オスの場合は腹部が朱色であれば本種、灰色であればウソと判断することができます。

食性は雑食性。木の実や芽などを食べ、繁殖期には昆虫の幼虫やクモ

などを食べます。国内で「ウソ」と名の付く野鳥は、本種と本州の高山や北海道の森林で繁殖し、冬に南下して平地で越冬するウソの2種類を主に観察することができます。ウソと本種の識別は尾羽の裏側や、オスの場合は腹部が朱色であれば本種、灰色であればウソと判断することができます。

地球未来賞・奨励賞を受賞しました!

第10回毎日地球未来賞(主催:毎日新聞社、後援:内閣府政策統括官、外務省、厚生労働省、農林水産省、国土交通省、環境省、協賛:株式会社クボタ)において、当NPOは地球未来賞・奨励賞を受賞しました。

本来は、授賞式も毎日新聞社・大阪本社で執り行われるのですが、コロナ禍なので残念ながらオンラインでの開催となりました。

今回いただいた奨励賞は、いい取り組みだからもっと頑張れという意味合いの賞ですので、今後さらに努力精進して上の賞を狙える活動を展開させます。



表彰状とクリスタルトロフィーをいただきました。

釣りや湘南を愛するすべての人に

湘南 茅ヶ崎漁港

らがよまれ

ご予約・お問い合わせは 0467-86-1157

YOSHIDA

For Premium Life

アセット マネージメント YOSHIDA 有 限 公 司 TY 企 画

〒236-0038 横浜市金沢区六浦南二丁目38番1号

TEL090-4024-9110

善福寺パークプラッツ 3LDK 72m66 賃料20万円 P2万6千円



プラゴミ バスターズ

三匹の
おっさんが行く



神奈川県海岸435.09Kmを踏破する！ その4.根府川から小田原まで

写真/田中篤(空撮、A.T陸上)、道下勝基(陸上) 文/豊田直之

「なんじゃこりゃあ…」思わず叫んでしまうような情景が目の前に展開。根府川駅から急な坂道を降りて片浦海岸へ。玉砂利の浜で、見た目も美しい浜。しかも国道135号線からすぐということもあってか、いたるところにバーベキューをやった跡があり、空き缶やペットボトルが散乱。こういった輩が減らない限りは単なるイタチごっこです。

ようやく難関の真鶴半島

を越え、今回は根府川から早川まで、日を改めて実施した早川から小田原・山王川河口口までの話です。

玉砂利の浜を過ぎると、岩場がしばらく続きます。大物の釣れる磯釣り場が続き、釣りエサの入っていたパッケージ、ペットボトルなどを回収しました。

米神エリアから、崖が切り立って海岸伝いには進めない場所があり、国道135号線へ

イビングセンターへ。当センターの滝田叔歳(たきだ よしとし)オーナーにこの日のごみの処理をお願いしました。

日を改めて、早川駅から小田原漁港を経て海岸へ。このあたりから急に浜が広くなり、ようやく歩きやすくなりました。しかし早川の河口を中心に、ペットボトルの漂着が多く、かなりの本数を回収しました。

我が国では年間約230億本のペットボトルを生産。そ

の90%が回収されていると業者は鼻高々に言い放ちます。しかし、回収されていない行方不明の10%でも23億本。この7割近くが海に流れ出ているとすれば…。こんな状態で地球が長持ちするはずはないでしょう。

拾ったごみの量(2回分の合計)
 ビン・缶……………1.578kg
 ペットボトル……………5.724kg
 プラごみ……………8.021kg
 総重量……………15.323kg



YouTube チャンネル
 海の森山の森
<https://www.youtube.com/channel/UCIV2ZEAvLgHOG-rpM9cweOg>
 チャンネル登録と「高く評価」よろしくお願いします！



ヘッドランドでお弁当。地元の子もたちがボクたちの姿を面白がって近寄ってきた。厳しい道のりが続いた前までにはなかった光景。

Radio Taxi
ラジオタクシー

子育てタクシー
陣痛119番

小さいお子さんとの外出も安心！

研修を受けた安心
ドライバーが担当

チャイルドシート
完備！！

羽田空港
定額運行サービス

西区・中区より
※他区ホームページ
をご覧ください

普通車 **7,100円**
(高速料金別途)

おかげさまで創業68周年

アサヒタクシー株式会社

アサヒタクシーは環境を守る企業経営に責任を持って取り組んでいます

本社・山手営業所

0120-39-9875

〒231-0851 横浜市中区山元町4-188番地
<http://www.asahitaxi-hama.co.jp>

あなたに寄り添うクルマ、
それがボルボ。

THE NEW
VOLVO XC40

ボルボ・カー横浜西口
 横浜市西区楠町 12-10
 首都高速 横浜西口ランプそば
 TEL:045-321-0990

ボルボ・カー横浜西口



しばらく行くと川幅のある早川に行手を阻まれた。少し上流側の橋を渡るために迂回。河岸のごみも拾った。



早川の対岸から再び海岸へ出た。河口付近ということもあり、ペットボトルの漂着が多く、あっという間にごみ袋が一杯になってしまった。

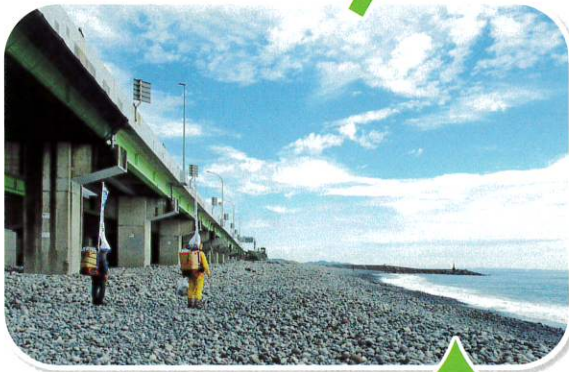


この日拾ったペットボトルはおよそ170本。パンパンに膨らんだ袋で両手が完全にふさがった。

山王川河口でこの日のごみ拾いは終了。足場も安定したことから、次回からしばらく一般公募で実施することにした。



この日のごみは、石橋ダイビングセンターの滝田オーナーにその処理をお願いした。



日を改めて、今度は早川駅から小田原漁港を経て海岸へ。ここからは浜の幅も広がった。

玉砂利の美しい浜も台無し。この浜でバーベキューを楽しみ、そのとき出たごみがそのまま放置されていた。↓



根府川からは、根府川のシンボリックな赤い白糸川橋梁脇を抜ける急な坂道を降って海岸へ出る。(撮影A.T)



低気圧通過直後のこの日。行くての浜に容赦なく大きめの波が叩きつけられる。



しえあひるずヨコハマ
SHARE HILLS YOKOHAMA
居住空間と展望台のレンタルスペース

<https://www.facebook.com/sharehills/>

新車販売 車検 板金

加賀美自動車

南区永田南1-4-10
045-741-7321
info@kagami-car.com

私たちは地球に暮らす人々に『安全』と『安心』を環境面から提供しつづけます



私たちはこの使命を忘れることなく地球環境を見守ってきました。すでに人々は、限りある地球と共生することの大切さをしっかりと認識しています。いつの日か「環境破壊」や「地球温暖化」が過去の言葉となることを願って。これからも私たちは真摯に環境と向き合っています。

私たちは地球のドクター
OSUMI 5th Anniversary
株式会社 オオスミ

www.o-smi.co.jp

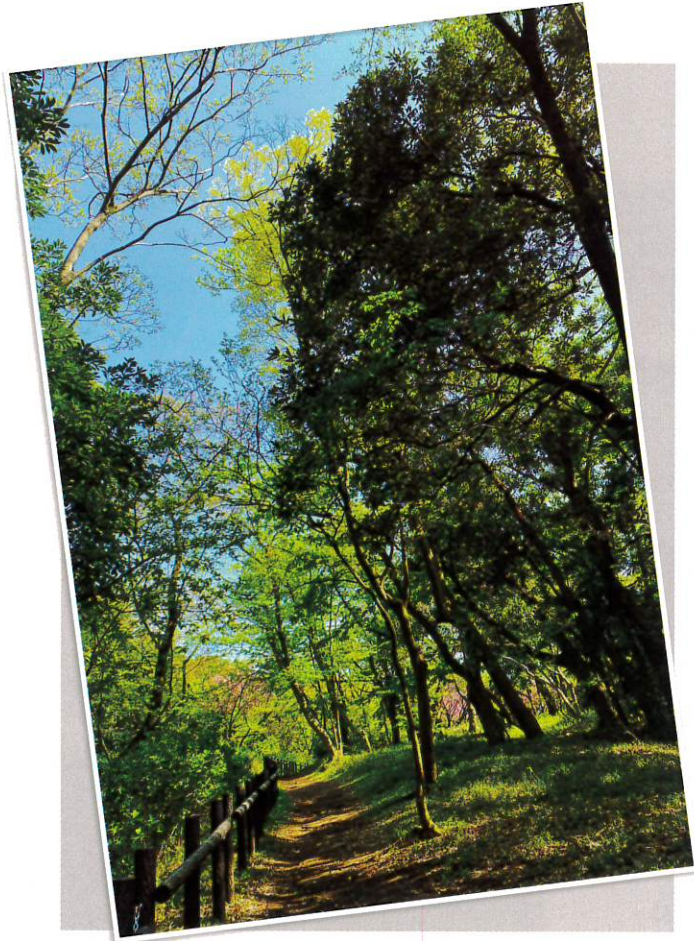
都市開発の基礎を支える
三好商会グループ

【商社】(株)三好商会 横浜市西区北幸 2-8-4 045-328-3440
【運送】旭企業(株) 横浜市西区北幸 2-8-4 045-328-3520
【環境】三好環境(株) 東京都港区新橋 2-10-5 03-6257-1047

天麩羅・肴
登良屋

横浜市中区吉田町2-3
045-251-2271

道下勝基の Nature Essay Vol.4



三ツ沢公園に隣接する豊頭寺市民の森の散策道。

コロナによる非常事態宣言が発令されていたこの冬。身近な自然を求めて、私の住む横浜市神奈川区にある「豊頭寺(ぶげんじ)市民の森」に足を運びました。区内にあるただ一つの市民の森で、通り抜け

ばものの10分程度です。自宅から歩いて20分ほどで着くのですが、こんなに自然を感じられる場所とは思っていませんでした。1月末、この森に入り休憩していた時のことです。キツツキが木を叩

いている音に気づき、アオゲラを見つけることができました。家から近い街中でアオゲラを見つけたことから、他にも冬鳥がいるのではないかと思ったことがきっかけ。翌日からはカメラや双眼鏡を持ってこの森へ通うようになりました。通い始めると、シロハラやシメ、ツグミをはじめとする数種類の冬鳥がいました。アオゲラは営巣していましたし、骨と羽だけになった猛禽類の亡骸も見つけました。身近な場所にある自然の豊さに今更ながら気が付き、森の中にいる時間が次第に長くなっていきました。

桜が咲く時期になると冬鳥は姿を消し、森は少し寂しくなりますが、5月になるとキビタキやオオルリといった夏鳥が期待できるかも知れません。

Close-up Supporter

サラリーマンカヤッカー 出口 剛さん



シーカヤックでのツーリングをはじめ、ふだんから家族で海や山の自然に親しんでいます。4月からは「三匹のおっさん」のメンバーに仲間入り。海岸線を歩いて、ときには漕いで、自分で見たことや体感したことを広めていきたいと思っています。素晴らしい自然を次世代に引き継ぐ活動をみなさんと一緒に盛り上げて行きましょう!

この新聞制作にご支援いただいている方々(順不同、敬称略)

この新聞制作にご支援いただいている方々(順不同、敬称略) 五十嵐秀典(港南区)木野和江(東京都)村田俊哉(磯子区)中野正樹(泉区)東郷新(東京都)福永秀樹(港北区)藤原圭子(中区)海老名季晴(港南区)林宏一(金沢区)工藤誠一(鶴見区)杉原善朗(中区)片山かなみ(戸塚区)野島和美(東京都)豊田有希(港北区)柴垣正弘(中区)浅木克真(中区)飛鳥田一朗(中区)天野直樹(都筑区)荒木彦次(磯子区)菊嶋秀生(港南区)木津康博(西区)齋田順一(金沢区)地主道夫(戸塚区)清水良夫(中区)時久康信(港北区)長谷川章範(戸塚区)安室伸一(港南区)山本宗男(中区)吉永昌生(神奈川区)渡邊俊郎(西区)高橋淳(中区)太田篤胤(千葉県)塩谷あき子(東京都)百田仁(茨城県)藤井俊司(戸塚区)田中良篤(川崎市)桃井貴子(港南区)堀田彌生子(瀬谷区)長井文枝(港北区)狩野英(川崎市)水流陽一(鶴見区)濱口紀子(金沢区)吉田節枝(中区)本所能子(港南区)金木伸浩(中区)早川光二(戸塚区)渋谷健(南区)伊藤元二(南区)能勢直征(新潟県)久野謙治(港南区)杉島和郎(中区)磯村八恵子(東京都)福島俊彦(横須賀市)大庭一郎(都筑区)深田聖子(鎌倉市)大島重信(中区)藤崎大四郎(鎌倉市)根門喜美子(磯子区)井上珠江(保土ヶ谷区)井上美樹(保土ヶ谷区)杉山修子(神奈川区)小林直樹(中区)角野涉(中区)五十嵐洋志(港北区)末松孝一(平塚市)関水正和(大和市)高橋むつみ(神奈川区)榎内誠(川崎市)松下廣(中区)大村貴志(保土ヶ谷区)郁

代(神奈川区)馬場琢三(神奈川区)小島勇祐(中区)村山郁男(磯子区)高島進一(鎌倉市)岸和男(西区)小林英清(旭区)沖浦公隆(西区)西木賢一(中区)法橋頌高(港南区)林秀安(港南区)若澤昌之(神奈川区)馬淵圭雄(南区)加藤卓郎(西区)北村美知子(中区)小川名剛彦(西区)野村豊(中区)鈴木紀子(神奈川区)藤間和美(茅ヶ崎市)松田純一(中区)松本淳(戸塚区)松尾順子(中区)横内峯雄(オーストラリア)森本義紀(東京都)原亜希子(戸塚区)渡部聡(中区)永井等(西区)内藤功(港南区)高野聡子(港北区)石田昌之(港南区)山口行治(東京都)梶見三(中区)藤岡輝好(神奈川区)串間洋(港南区)齋藤直子(南区)田代哲也(中区)杉田まゆ(南区)田川恵子(南区)六反隆徳(東京都)北村保行(旭区)山鹿素雄(神奈川区)藤間敏之(磯子区)永倉六郎(港南区)外川一彦(金沢区)多田直之(川崎市)吉田尋行(泉区)前田理司(金沢区)島山忠昭(川崎市)遠間ひで子(日野市)中島ちなみ(中区)岸和男(西区)西山久(鶴見区)石橋康弘(鎌倉市)西井篤(保土ヶ谷区)是石裕介(青葉区)池田孝(大和市)鈴木佐和子(南区)長井千文(ハワイ)平手貴之(南区)長谷川由美(茅ヶ崎市)水島綾子(南区)建部昌臣(鎌倉市)松村俊幸(鶴見区)熊田昌秀(川崎市)石井宏(フランス)吉岡由紀子(成田市)久村真弘(東京都)佐藤桂(藤沢市)横道浩一(東京都)田辺恵子(中区)長澤征次(鶴見区)森野秀樹(南区)高田浩司(東京都)三橋憲行(東京都)石川義明(戸塚区)鶴田千恵(熊本県)宮代拓充(南区)黒川松男(泉区)岡原重成(兵庫県)保泉哲也(金沢区)野末美由紀(千葉県)山崎良一(戸塚区)古川伸一(茅ヶ崎市)生利

悦造(大阪府)井筒昭(東京都)真壁崇(川崎市)佐藤敏子(港北区)小坂研治(港北区)小坂亨子(港北区)柿澤寛(中区)早川弘子(戸塚区)市田宏志(千葉県)鶴若富夫(中区)藤原園子(藤沢市)豊田和子(港北区)内山栄一(愛甲郡)加藤哲(港南区)美野恵津子(東京都)新村浩子(中区)豊田直之(港北区)大平愛子(埼玉県)井筒和子(東京都)井筒廣之(兵庫県)道下勝基(神奈川区)伏見晴(港北区)橋本良三(金沢区)磯貝高弘(逗子市)小玉英子(秋田県)田中篤(南区)岩崎州男(港北区)出口剛(旭区)吉川敏孝(千葉県)聖光学院中学校・高等学校、ウミウシハンターズ、珠や潜水、有限会社登良屋、株式会社加賀美自動車、秋山眼科医、株式会社横濱屋、株式会社勝烈庵、有限会社共栄商事不動産、株式会社こくらず、吉田興産株式会社、医療法人社団 湘南太陽会、アサヒタクシー株式会社、株式会社ワイスカーセールス、医療法人秀見会 馬車道レディスクリニック、株式会社大川印刷、株式会社一品香、三好商会グループ、株式会社太陽住建、株式会社オオスミ、株式会社キクシマ、合名会社川本屋商店、ちがさき丸、有限会社T・Y企画、有限会社ティエムオフィス、公益財団法人イオン環境財団、公益財団法人安藤スポーツ・食文化振興財団、公益財団法人アイネット地域振興財団、SCSK株式会社、Earth One、神奈川県、よこはま夢ファンド、桂川・相模川流域協議会、横浜ロータリークラブ、公益社団法人日本産業退職者協会、一般財団法人セブンイレブンの会、公益財団法人ブルーシー・アンド・グリーンランド財団、ヨコハマSDGsデザインセンター

The Story of Cover (表紙の写真)

毎年春号の表紙撮影が悩みの種。必ずしも桜にす

る必要もないのですが、やはり大岡川の春の象徴として桜になってしまいます。あきらかに地球温暖化の影響なのでしょう、桜の開花は早まり、さらにその年によっては開

花後の気温や天気の変化で満開のタイミングが大きくずれる。こちらも桜に合わせたスケジュールで動かねば、なかなかフォトジェニックな桜が撮れないのです。もうまさにわがまま放題なお姫様を撮影するようものです。



今年は満開のタイミングが難しく、ほぼ満開での撮影となりました。撮影地:大岡川河口・万国橋と新港橋の間 午後1時ごろ撮影。撮影データ:EOS5DMIII, EF14mm F2.8 II USM、1/1000秒、f9、WB:太陽光、ISO:500 撮影:豊田直之

Information 事務局からのお知らせ

大岡川IPGT大作戦は、毎月第一土曜日に井土ヶ谷エリア、第三土曜日に日ノ出町・黄金町エリアでコロナ対策をしながら実施しています。詳しくはお問い合わせください。よろしくお願いたします。



新聞サポーター & スポンサー募集

『Oh!Okagawa News(年4回、各回4,000部発行A3判オールカラー8ページ)』では、新聞サポーター(500円×4号=2,000円の寄付)を募集しています。サポーターの皆様には、氏名を掲載させていただき、『Oh!Okagawa News』を1年間毎月1部郵送いたします。また、広告スポンサーも募集中です。詳細については『NPO法人 海の森・山の森事務局』toyo-da@nifty.comまでお問い合わせください。

『よこはま夢ファンド』NPOの活動を応援して、税金対策しませんか?

横浜市が運営する、寄付金から2,000円の手数料を除く全額が所得税控除となる『ふるさと納税』と同じ制度。寄附される際に「希望する団体」に当NPOの名を記載いただくと、当NPOは助成申請し、市の厳しい審査を受け、承認されるとその金額分の助成を受けられます。寄附された方は所得税控除、企業の場合は損金計上、そんなメリットのある応援をぜひお考えください。お問い合わせ先:当NPO、または横浜市市民局協働推進課(045-671-4734) 検索「よこはま夢ファンド」

患者様お一人お一人に合わせた
ストレスのない診療を心がけています。

産婦人科
不妊専門

完全予約制

馬車道レディスクリニック

神奈川県横浜市中区相生町4-65-3 馬車道メディカルスクエア5F
TEL 045-228-1680 FAX 045-228-1681 <http://www.bashamichi-lc.com/>
JR・市営地下鉄線 関内駅より徒歩2~5分 みなとみらい線 馬車道駅より徒歩2分

IT'S ALL ABOUT GREEN PRINTING

環境印刷で刷ろうぜ

環境印刷を通じて「つくる責任つかう責任」を果たしていきます。

大川印刷
OHKAWA PRINTING, SINCE 1881

<http://www.ohkawa-inc.co.jp>

FSC® 森林認証紙、ノン VOC インキ(石油系溶剤 0%) など印刷資材と製造工程が環境に配慮されたグリーンプリンティング認定工場にて、印刷事業において発生するCO2を全てカーボンオフセット(相殺)した「CO2ゼロ印刷」で印刷しています。

